

意識調査質問項目 【小・中学生保護者】

○…骨子原案と同一項目

1. 回答者自身	内 容	稲 敷 市 の 例
〔目的〕 クロス集計に活用		
(1) 性別	男・女	○
(2) 年代	10歳きざみ・選択	○
(3) 子どもの学年		なし
2. 通学状況	内 容	稲 敷 市 の 例
〔目的〕 現状把握と通学区域設定の基礎資料		
(4) 通学手段	徒歩・自転車・他	○
(5) 通学時間、距離の上限	現状と上限	○
(6) 通学区域設定について	配慮すべき事項	なし
		通学区域制度の弾力的運用について
3. 学校、学級の規模	内 容	稲 敷 市 の 例
〔目的〕 現状把握と望ましい学校の規模と環境の意見聴取		
(7) 1クラスあたり人数	望ましい児童生徒数	望ましい学校規模・学級規模について
(8) 1学年あたり学級数と理由	〃 学級数	1クラスあたり人数
(9) 小規模化による課題	現在困っている点	1学年あたりクラス数と理由
(10) 今後の教育環境	優先して整備すべき設備 や機能	優先して取り組むべき事項 特色ある教育として優先して取り組 むべき事項 学校への人材配置
4. 地域との連携、共存	内 容	稲 敷 市 の 例
〔目的〕 多機能化に対するニーズの把握		
(11) 多機能化の可能性	多機能化の可否	なし
(12) 多機能する場合の機能	多機能化に適した施設	「空き教室」の活用方法
5. その他	内 容	稲 敷 市 の 例
〔目的〕 上記以外の自由意見聴取		
(13) 自由記入		○

保護者以外の対象者について（稲敷市事例から）

【教職員】

1. 回答者自身

- (1) 年齢
- (2) 経験年数
- (3) 役職
- (4) 担当学年

2. 学校、学級の規模

- (5) 1学級あたりの適正児童数
- (6) 1学年あたりの適正クラス数
- (7) 適正な全体児童数と理由
- (8) 学校の規模と教育目標達成の教育条件の相関

【児童・生徒】

1. 学校全体について

- 学校の楽しさ
- 学校の勉強が理解できているか
- もっと勉強したいか

2. 友達について

- 休み時間にいつもいっしょに遊ぶ友達
- 困っているとき、相談に乗ってくれる友達
- 勉強や宿題をいっしょにしたり、教えてもらえる友達
- 勉強や宿題でライバルになる友達

3. 先生との関係について

- 先生と話す機会があるか
- 困って、悩みを先生に相談するか
- 先生が自分のことをわかってくれているか
- 同じ学年にクラスがいくつあったらよいか、その理由
- 昼休みに大勢のともだちと遊ぶこと
- ちがう学年の子どもと遊ぶ機会